

スチュワードシップ活動概要

東海東京アセットマネジメントの国内株式運用は、顧客の中長期的リターンを確保することを目的に、ボトムアップアプローチを投資運用プロセスの中核に置いています。

ボトムアップアプローチにおいて重要となるのは「企業との対話」であると考えます。

説明会や I R ミーティングを通して行われる「目的を持った対話」が投資先企業、顧客、双方に利益が生まれるものと確信しております。

当社が、2014 年度に実施した企業との対話、及び 2015 年 5 月～6 月に実施した株主総会での議決権行使の状況は以下の通りです。

1. 企業との対話の概況

当社は、企業との建設的な対話に努める一方、特に情報開示が限られる新興企業及び新規上場企業を中心に、「事業戦略」、「財務戦略」、「I R 戦略」、「ガバナンス・リスク管理」等のテーマについて 10 社以上の企業と対話を重ねました。特に、株主還元に係る提言については複数の企業に対し行いました。

2. 対話における注目点

事業戦略

- ・ 経営計画に基づき、有効な経営戦略を打ち出し、且つ的確に実行できているか
- ・ 事業環境の変化を的確に把握しているか

財務戦略

- ・ 事業戦略遂行にあたって資本政策が適正なものとなっているか

I R 戦略

- ・ 投資家が求める十分な情報開示ができているか

ガバナンス・リスク管理

- ・ 取締役、監査役が機能する状況にあるか
- ・ 環境問題、反社会的活動、不祥事案件等に対するリスクの備えは十分か

3. 議決権

議決権行使に関しては、社内規程に定める「議決権行使ガイドライン」に基づいて行っています。行使結果については、ホームページに公表していますので、そちらをご参照下さい。